



# Weekly Report



## 小諸浅間ロータリークラブ

◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽  
◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2階  
TEL 0267-23-8125 FAX 0267-23-2788

### 2012-2013 役員

◆会 長 / 黒澤 明男 ◆副 会 長 / 小林 秋生  
◆幹 事 / 西川 宏 ◆広報・情報委員長 / 橋詰 希望

- ◆点鐘 黒澤 明男 会長
- ◆SAA 神津 恭通 委員
- ◆ソング それでこそロータリー

### 【会長挨拶】 黒澤 明男 会長

10月13日、14日、佐久一萬里温泉、ホテルゴールデンセンチュリーで

地区大会が開催されました。私と西川幹事は2日間の参加でした。14日の2日目の本会議と講演などに参加下さいました会員の皆様ありがとうございました。

今日はこの地区大会の報告させていただきます。今迄と異なった内容で充実した大会についての報告を期待しております。

先週16日は合同夜間例会、クラブ運営委員会の皆様ありがとうございました。また、昼間のゴルフコンペに参加の皆様お疲れ様でした。親睦と友情の深まった

楽しい秋の晩暮でした。

プロ野球セ・リーグのクライマックスシリーズ、ファイナルステージ最終戦が昨日、行われ、巨人が中日を撃破してセ・リーグ代表として日本シリーズ進出が決まりました。清水さん、大変、非常に残念でした。心中をお察しします。

さて、日本でもっとも古く、歴史ある「プロ野球球団」だからでしょうか？読売ジャイアンツは、いまだに「巨人軍」と名乗っています。なぜ、「巨人軍」なのでしょう？これは、ネーミングされたときのむかしのチーム名が、そのまま残っているのです。巨人軍は1934(昭和9)年、大日本東京野球倶楽部として設立。その後、東京ジャイアンツ、東京巨人軍と改名しました。その頃は、大東京軍、名古屋軍といった球団もありました。戦時体制のため、球団名には軍隊の「軍」がつけられていたのです。戦後、各チームとも名称を変更しましたが、巨人軍だけはそのまま受け継がれていったというの

です。会員の皆様はそのまま派？改名派？どちらですか。

### 【幹事報告】 西川 宏 幹事

#### 1. 例会変更

##### 上田RC

11月12日(月)合同夜間例会の為 定刻受付あり

11月19日(月)合同夜間例会の為 定刻受付あり

#### 2. 週報

上田西、丸子、東御RC

##### 本日の配布物

週報 1156号、1157号、  
ガバナー月信 4号、理事会報告、  
都筑ガバナー月信 14号訂正表

### 【委員会報告】

#### ・奉仕プロジェクト委員会

小池 平一郎委員長

30日薬師館で職場例会です

#### ・クラブ運営委員会

清水 良英委員長

クリスマス例会の打ち合わせを

30日行います

### ◆ラッキー賞

No5

橋詰 希望 君

### ◆ニコBOX 黒田 説成 委員

黒澤明男君	地区大会と合同例会にご協力ありがとうございます。
神津恭通君	先日の小諸クラブとの合同例会、私が進行担当でしたが清水良英さんに代ってやって頂きました。清水さん有難うございました。
中河邦忠君	早退のお詫びに。
西川宏君	地区大会の参加ありがとうございました。
橋詰希望君	ラッキー賞ありがとうございました。2月ミャンマーに行きます。参加希望の方いらっしゃいますか。

## 【本日のプログラム】 地区大会報告

### 橋詰 希望 君

秋晴れの今月14日小諸駅発8時10分の小海線で会場のある北中込まで行きました。小諸クラブのメンバーを含め15人ほどが、北中込という無人駅に下りるのが始めてと話ながらホテル万里まで砂利道を5分ほど歩きました。会場は玄関の前で記念写真を撮るクラブなどでごったがえしていました。報道によると1000人の参加ということなので、友愛の広場も立錐の予知がないほどの賑わいでした。飲み物を手に入れる列もいっぱいでしたが、兪佳怡さんたち米山留學生が中国などのお茶をティーバックで提供している場所でやっと飲み物が手に入りました。大会は国際ロータリー会長代理の平井義久様とご夫人の入場を拍手で迎え始めました。各クラブ紹介は大きな声で答えるクラブがあるかと思えばまったく返事が聞かれないクラブがありました。あとで聞きますと会場に全員が収容しきれず別会場で画面を見ながらの参加メンバーの声が届かなかったとのことでした。ちなみにわがクラブも午後の竹田恒泰講師による講演会は別会場で話を聞きましたが、話の内容がとて面白かったので生で聞きたかったです。佐久コスモスの準備も会場が狭く色々大変であったと思いますが、進行はリハーサルも十分されたと感じられスムーズに進められました。依田方伯実行委員長のやや緊張気味の開会の言葉が印象的でした。来賓として阿部長野県知事、柳田佐久市長、榎山佐久商工会議所のご挨拶があり平井会長代理の会長のメッセージ伝達とRI現状報告がありました。地域にロータリー活動をPRすることが会員減少の歯止めになる、国家の品格、地方の品格といわれるがロータリーの品格が増強につながる。絆を強め、その力が平和につながるといいます。職業を通じて奉仕を行い職業人のリーダーとなってほしいといいました。自分がロータリアンとして認められたときはうれしかったと入会したときの気持も披露しました。より多く奉仕をする者はより多く報いられる、真のロータリアンといえる1年にしようと話されました。今井登録委員会会長は参加65クラブ2116名の登録があったことが発表されました。記念コンサートでは佐久市立野沢小学校合唱クラブの合唱が行われ大会参加曲のあと、ふるさとと赤とんぼの2曲が歌われて特に心にしみました。楽しみのお昼は分散してそれぞれの部屋で食事をとりました。わがクラブは和室を単独で使用しのおんぼり話もしながらゆっくりすることができました。

佐久コスモスによる地区大会、会場が狭く運営が非常に難しかったと思いましたが本当によく準備がなされ司会進行もスムーズで、記念講演の講師も内容もよくとても評価できる大会でした。講演のあと古事記を現代語で読むという本を勢いで買ってききましたが、天照大御神はじめ神の名前や須佐之男命など神々の名前が沢山出てきて早くも挫折気味であります。以上私の報告を終わります。

### 清水 良英 君

地区大会報告 午後の部の報告をいたします。12時40分より台湾の陳 姿菁さんの米山カミングホーム卓話。続いて新世代アワーがありました。14時から竹田恒泰氏の記念講演でしたが、これについては後ほど詳しく報告します。15時40分からは第2回本会議でした。この会議で次期ガバナー 宮坂宥洪さん（岡谷RC）が紹介され、挨拶を頂きました。次に次年度地区大会ホストクラブとして あずみ野ロータリークラブが紹介され、会長の小穴実さんより、来年の出席要請のあいさつ。続いて大会旗の引き継ぎがありました。その後RI会長代理講評、記念品贈呈、ガバナーあいさつと続き、閉会点鐘にて2012年地区大会の全日程を終了しました。それでは次に、竹田恒泰氏記念講演「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」についてレポートします。竹田氏は明治天皇の玄孫（やしやご⇒曾孫の子）にあたり、慶應義塾大学法学研究科憲法学の講師ならびに作家として、ご活躍されております。竹田氏は大学において、日本国憲法第一条「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。」この第一条のみを日本の歴史や歴代天皇についての話を交えながら一年間かけて講義をしているのだそうです。たった50文字ほどの条文ではありますが、そこには簡単には理解できない深い意味があるのだなと感じました。続いて今月5日、政府が公表した「論点整理」についての話がありました。これは「女性宮家」創設をめぐり有識者12人に対して行ったヒアリングをもとにまとめたものです。竹田氏がかねてより大反対している「女系天皇」についての解説では、今まで確かに女性の天皇は存在していますが、その父系は必ず天皇につながっている。ところが女系とは父方ではなく母方が天皇につながるということなので、万世一系の天皇家においては実質的には「雑系天皇」とでもいうべきものが生まれるというであり、民間人が天

皇に婿入りするというようなことが起こり得る。そう考えると私も「女系天皇」には強い抵抗を感じざるをえませんでした。今回の「論点整理」では「女性宮家」の創設という柔らかな言葉と一代限りという穏やかな制度が検討されているのですが、「女系天皇」への足掛かりになってしまわないかと心配しているとのことでした。

ここから講演のテーマであり、当日配布された著書の題名でもあります「日本はなぜ世界で一番人気があるのか」という本題に話を移していくわけですが、そもそも最初から「えっ、日本はそんなに人気があるの？」とタイトルに違和感を覚えたのは私だけでしょうか？

平成 18 年、英国の BBC 放送が 33 か国で約 4 万人を対象に世論調査を行った結果、「世界に良い影響を与えている国」として最も高く評価されたのが日本でした。その後 3 年連続同調査において、1 位を占め、その後 4 位、2 位と推移しています。なぜ日本の人気が高いのでしょうか？一般的に「日本人」といった場合、日本国籍を持っている人を指す場合と、日本民族を指す場合とに分かれる。前者は見た目や考え方、習慣等とは無関係に国籍さえあれば良いのですが、後者についてはそう単純ではありません。

竹田氏は日本人(民族)を理解するうえで、次の 3 点から考察している。

① 自然観：日本人⇒食べ物に感謝(いただきます)  
欧米人⇒神から与えられた権利

② 死生観：日本人⇒労働・仕事は生甲斐・喜び  
欧米人⇒罰

③ 歴史観：戦後教育でズタズタに

3.11 の東日本大震災で世界にクローズアップされた日本人の高潔さによって日本人に根付いている自然観や死生観がいまだ健在であることが証明されたわけです。そもそも日本の繁栄や世界に冠たる製品・芸術品・料理等はこの自然観や死生観から生み出されてきたといっても過言ではありません。

しかしながら 3 番目の歴史観においては、前述の BBC の調査においても他国からの評価は高いにもかかわらず、自国の影響力を肯定的にとらえている比率が日本は 43%となっており、中国 81%、ドイツ 79%、韓国 76%、アメリカ 60%と比較すると大変低い数値となっていることがわかります。

竹田氏によると終戦直後の占領下における GHQ

の一番の目的は、命も惜しまずに戦うことのできる資質を持つ日本人が二度と刃向うことのできないように、骨抜きにすることであったという。天皇の廃止も視野に入れたものの、ほぼ全ての日本人に恨みを植え付けてしまうのは占領を著しく困難なものにしてしまうため、より現実的な施策として、歴史を歪曲し、神話を否定し、それによって国家と民族の誇りを消し去るために教育に強く介入しました。

人類普遍の摂理によれば、特別な虐待を受けたりしない限り、子は親を愛するものであって、また親が冤罪で死刑になつたりしない限り、国民は国家を愛するものであります。

もし本当に日本人が日本を愛していないとしたら、それは何か歯車が狂っているからに違いありません。そこにあるのは、民族の誇りを徹底的に否定された占領期の後遺症の結果なのではないでしょうか。

結論として竹田氏は、民族の誇りを取り戻すために、日本人が正しい歴史、神話を学ぶことで失われた歴史観を取り戻すことの重要性を強調。そのためのツールとして「現代語古事記」をはじめ多数の著書を執筆しているので、購入して読んでもらいたいとのことでした。

「どうやら今、世界は猛烈な日本ブームに沸いている。日本人は世界がどれだけ日本に注目しているか、正確に把握しておくべきだろう。日本人が日本人としての誇りを取り戻すことができる最後の機会が到来していると私は確信している。ペリー来航以来、日本的なものは封建的な古臭いものとして、無価値のレッテルを貼られ、さらに大戦終結後は、軍国主義の源として完全に否定されてきた。しかし、その日本的なものを近年、世界の人々が高らかに賞賛している。日本人は、そのような世界の人々の反応を見て、はじめて日本的なものの価値を再発見しているのである。日本人はかつて、これほどまでに世界から注目され、愛されることを経験したことがないと思われる。決して舞い上がることなく、冷静に、そして謙虚に、まずこの事実を知ってほしい。最終的な評価は第 3 者の異邦人ではなく、結局は自分たちで下していかななくてはならないのだから…。」

以上「日本はなぜ世界で一番人気があるのか」の冒頭の一説を引用し、報告の締めとさせていただきます。

## 来週のプログラム：職場例会 薬師館

【出席報告】 前田 博志 委員

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 10月23日	24	19	事前(1)		79.17%
前々回 10月10日	24	21	事後(2)		修正 95.83%